

工 事 名 平成25年度[第25-D0952-01号] (国) 150号社会資本整備総合交付金  
(国道道路改築(2次)工事(舗装新設工その1))

題 名 舗装工事に於ける創意工夫と品質と作業の向上について

(一社) 静岡県土木施工管理技士会  
株式会社 橋本組  
工務部 鈴木 健司  
Kenji Suzuki  
技術者No.00131958

### 1.はじめに

国道150号は静岡県清水区を起点とし、駿河湾や遠州灘の沿岸部を通り浜松市に至る主要幹線道路ですが、交通量が多いことから、一級河川大井川にかかる富士見橋付近の慢性的な重大が過大視されています。

当工事は、焼津市惣右衛門地内に於いて、現道の交通渋滞緩和と地域の産業活動や日常生活の利便性向上に大きな効果を期待すると共に、すべての道路利用者が安全に通行できる事を目的として新設されるバイパス舗装工事である。

工事概要発注者	静岡県島田土木事務所
工事場所	静岡県焼津市 惣右衛門 地内
工期	平成25年9月30日～平成27年3月13日
施工延長	L=557.6m
主要工種	<ul style="list-style-type: none"><li>• 車道舗装工 9220m<sup>2</sup> (表層.中間層.基層(改質Ⅱ型B).瀝青安定処理.上/下層路盤工)</li><li>• 歩道舗装工 3260m<sup>2</sup> (表層(透水性改質Ⅰ型).フィルター層.路盤工)</li><li>• 橋面舗装工 (車道(ポリマー改質Ⅲ型-W) 310m<sup>2</sup> (歩道(消石灰入り細粒度As(13)) 170m<sup>2</sup>)</li><li>• 橋面防水工 (新設シート系防水 298m<sup>2</sup> 新設塗膜系防水 164m<sup>2</sup>)</li><li>• 市道寄り橋大島線 車道舗装工 1610m<sup>2</sup> (表層(密粒度ギャップ改質Ⅰ型))</li><li>• 縁石工.区画線工.道路付属物工 1式</li></ul>



(国) 150号バイパス 惣右衛門地区 完成イメージ







### ② アスファルト合材の温度管理

・使用舗設機械に『アスファルトプラント推奨温度の見えるか』を行って舗設温度を厳守した。また、温度管理は非接触型温度計にて計測したことから（レーザー温度計の使用）合材到着温度、初期転圧温度、交通開放温度を瞬時に測定できることにより、品質管理の徹底が行えた。



推奨温度の見えるか



レーザー温度計による測定

### ③ 舗設作業のタイムスケジュール検討と立案

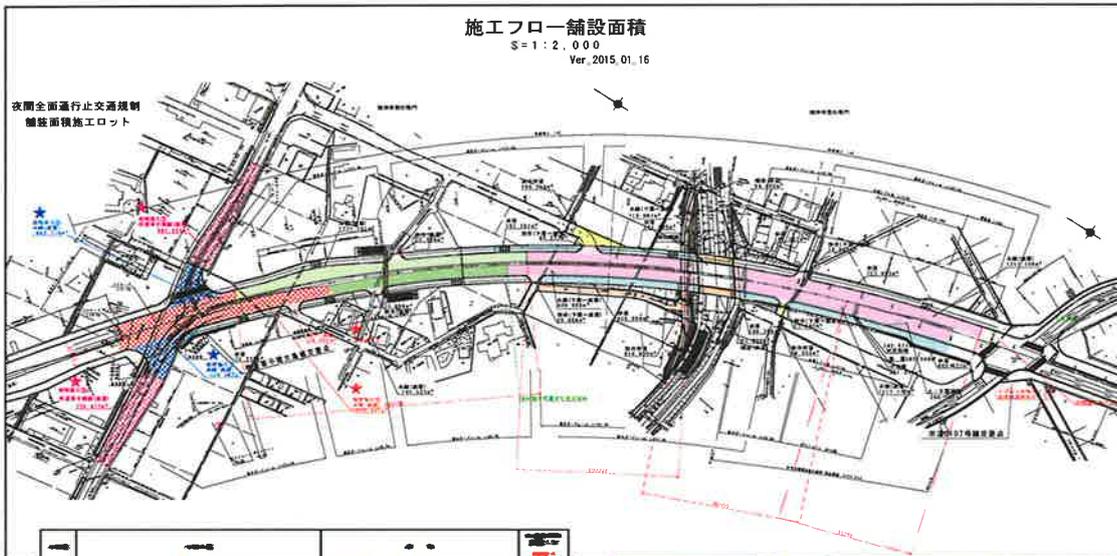
・事前に交通量調査を行ない、大型車両の運行が多い物流会社や広域への工事周知と規制に関する協力を基に警察協議を行った結果、夜間の全面通行止交通規制に関しても、通常の規制開始時刻22:00から20:00への変更承諾が可能となり、余裕を持ったの舗設作業が行えたうえ、苦情発生は起こらなかった。



交通量調査



協力依頼広報



作業区	作業内容	作業時間	作業台数
15区	...	...	2
16区	...	...	2
17区	...	...	1
18区	...	...	0.5
19区	...	...	1
20区	...	...	0.5
21区	...	...	2
22区	...	...	2
23区	...	...	2
24区	...	...	2
25区	...	...	2
26区	...	...	2
27区	...	...	2
28区	...	...	2

タイムスケジュール表



作業手順検討会

・一般的な交通解放温度は50℃である。社内規格値としては40℃となることから、ローラー搭載型放射温度計をローラーに取り付け全線モニタリングを行った。

所轄警察と地元への協力を要請し、夜間の交通規制開始時間を早めて綿密なタイムスケジュール計画を行ったことにより、レーザー温度計による路面温度測定を合わせて確認したところ、開放温度の平均は17.5℃となり、わだち掘れの低減と平坦性改善に有効となった。



④ 交通量が多い道路に接する作業時の第三者接触事故災害対策

・As合材の敷均しは、柄の伸縮式するタイプのレーキを使用して舗設作業を行った。  
現道上の狭い作業帯での接触事故防止対策として有効であり、背面の空間が無い場所での施工性向上となった。



4.終わりに

・綿密な事前調査と施工検討を繰り返して工事を行いました。結果として、安全で安全な作業を段取りよく行え、品質、出来栄と共に良好な仕上がりがであったと感じます。  
また、地元とのコミュニケーションを良好に保った結果が、工事期間中の苦情発生、事故災害ゼロに繋がったと確信おります。  
・施工条件、周辺環境、経済的な事などの多くの課題はありますが、いかなる場合でも、安全第一に品質の妥協せず、今後もより良い構造物の構築と、公共工事のイメージアップに努めていきたいと考えます。

